

職場環境要件		当法人の取り組み
入職促進に向けて取り組み	他産業からの転職者、主婦層、中高年者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	中高年齢者や転職者、退職者を中心に年齢経験を問わず積極雇用を実施
資質の向上	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	研修受講時の他の福祉・介護職員の負担を軽減するための代替職員確保や福祉・介護職員の年間研修計画に基づき、Eラーニングによる研修実施・報告書提出など資質の向上に努めている。中堅職員向けマネジメント研修も実施。
両立支援・多様な働き方	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入	毎月福祉・介護職員の状況に応じたシフト表の作成や短時間正規職員の就業規則整備
腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者も受診可能な健康診断・ストレスチェックや従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施。介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の習得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	福祉・介護職員、事務職の健康診断を毎年実施。虐待防止研修やハラスメント防止研修時にストレスチェックシートで自己認識深める福祉・介護職員の腰痛対策として、奇数月に「腰痛対策健康体操教室」を開催
生産性向上のための業務改善の取り組み	5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字)等の実践による職場環境の整備	職場環境整備担当者を設置して、担当者を中心に定期的に整理・整頓・清掃・躰を実践し、職場環境の修繕や電気系統の見直し等も実施
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善。ケアの好事例や利用者やその家族からの謝意等の情報共有機会の提供	福祉・介護職員対象の毎月定期的な会議実施により、利用者の留意事項の共有ができ、ケア内容の改善、また利用者や家族からの謝意などの情報共有もなされている。